

1 はじめに

本校の生徒は、集団の中で自分の思いや考えを主張できなかつたり、他人の意見に安易に流されてしまったりするなど、自主的に取り組むことが難しい生徒が多い。今年度特別活動部では、生徒の自主性・自律性や集団への所属感を高めるために、「自主的な生徒会活動の場の確保」、「学級活動、学校行事による自己有用感、自己肯定感の高揚」、「生徒にとって魅力ある学校行事の計画と実践」の3つを方策として取り組んだ。新型コロナウイルス感染症の影響で従来のように学校行事を行うことができない中、リモート放送などを使い生徒が自主的・実践的活動ができるよう場の工夫に努めた。

2 資料（実践事例）

(1) 生徒総会

今年度の生徒総会では、昨年度の3月から各委員長が作成した議案をもとに、リモート放送で行った。その後、各委員長が要望等について校長先生にプレゼンテーションを行い、交渉を行った。

議案審議されたもの

- ・給食委員：文化祭（暇修祭）時の飲み物販売について
- ・生活委員：いわゆる「置き勉」について（審議中）
- ・体育委員：昼休みの体育館開放について（審議中）

(2) 文化祭（暇修祭）

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況対策を考慮し、文化祭の実施について生徒にアンケートを行った。アンケートの結果、「開催したい」という意見が大多数だったため、感染症対策を講じた上で、12月17日に暇修祭を行った。

- ・合唱コンクールは当該学年の生徒・保護者が体育館で、他学年はリモート放送による教室鑑賞を行った。
- ・ビブリオバトル、吹奏楽部発表、特技発表は、録画したものを各教室で鑑賞した。
- ・ステージアートでは、全校生徒で作成し、体育館のバックステージに掲示した。

3 成果と課題

【成果】

- ・リモート放送を活用することによって、3密を避けることができ、生徒総会や文化祭を従来とは違う形ではあるが実施できた。
- ・生徒総会では、時間をかけて議案書でくりを行ったので、各委員長が自信をもって発表することができた。
- ・文化祭の午後の特技発表では、クラスや部活動ごとに準備を進めるなど、自主的に活動する姿を見ることができた。

【課題】

- ・全校生徒で参加する行事が新型コロナウイルスの影響で実施するのが難しい現状がある。リモート放送を活用して実施したが、生徒によっては、鑑賞するだけの生徒もいた。コロナ禍においても生徒全員が自主的に参加できる学校行事を検討することが課題である。